

**高野伸生委員** 次に、もう 1 点、最後に先ほど話がありました木材利用についていろいろお伺いしたいと思います。温室効果ガスの吸収源として温暖化対策に資する木材の利用、いわゆる CO<sub>2</sub> を吸収するという木材、市民の目に優しい素材であると同時にまた子供の健康にも非常にいいということで、公共施設に木材の構造、あるいは木質系の材料を導入するように努めるというのが、大阪市の公共建築物等における木材利用基本方針でございます。

これは昨年策定されたんですが、策定されてほぼ 1 年になりますけれども、この指針に基づく取り組みの現状はどのような状態でしょうか。そして、先ほど配付したこの資料には、今年度から始まった大阪府の木材利用促進にかかわる補助事業、子育て施設の内装木質化の促進を記載しておりますけれども、この事業の現状についてもお伺いいたします。

**井原環境局環境施策部環境施策課長** お答えいたします。

本市では、平成 28 年 3 月に大阪市公共建築物等における木材利用基本方針を策定しまして、同方針に基づき公共建築物等の整備に際し、コストや利用者ニーズ等総合的に判断いたしまして、木材利用の促進に努めているところでございます。

公共建築物は、広く市民一般の利用に供されるものであることから、木と触れ合い、木のよさを実感していただく機会を幅広く提供することができるものと考えております。

この基本方針では、民間が整備する学校、社会福祉施設等、広く市民が利用する公共性の高い建築物も対象にしております。大阪府が今年度から導入した森林環境税を財源とします子育て施設木のぬくもり推進事業の補助によりまして、市内 7 つの幼稚園・保育所で施設の内装の木質化が実施されるなど、取り組みが進んでいるところでございます。

また、大阪市・八尾市・松原市環境施設組合による住之江工場の更新に際しては、環境的配慮としまして見学者や一般市民が利用するスペースを中心に、木質系材料の使用が検討されており、本方針を踏まえた取り組みが期待されるところでございます。

さらに、地域と連携した環境学習事業におきましても、木育等をテーマとした環境学習講座を実施しております。木材利用の意義についても引き続き普及啓発を行ってまいります。以上でございます。

**高野伸生委員** ありがとうございます。

引き続き、特に公共スペース、特に横浜市なんかでも行ったときに、ある区役所で市民広場は全部木で、木材を使っているところですね、全国であちこちにこういうスペースができてきております。ぜひこの推進について、局としても、各担当局だけやなしに、例えば建築確認を担当してる都市計画とか、それからまちづくりをやっている課とか、そういうところにいろんな情

報を提供して、この促進に努めていただきたいと思います。

最後の質疑になりますが、この間、関西広域連合の本会議、いわゆるこの大阪市会みたいな、3月の予算市会みたいな本会議がございました。そこで、関西広域連合としても、この木材利用について非常に関心を持っているということでございますが、特に木質のバイオマス発電について、いろいろ取り組みが始まっております。

例えば兵庫県の朝来市、あるいは兵庫の社団法人で兵庫みどり公社、また関西電力のグループ会社が152億円も投じてこういうパイロットランというんですか、こういうバイオマス発電の取り組み、研究を今なされております。

都会では、こういうパイロットをつくるのは非常に難しいと。また排ガスとか一部出ますので、そういう逆の規制が出てきますけれども、ただ、これからの国内全体の取り組みとしても、非常に普及すれば少しでも環境対策に、いわゆる地球温暖化対策に貢献できるんじゃないかと思っておりますけれども、大阪市域の設置状況は今どんな状況ですか。

**河合環境局環境施策部エネルギー政策担当課長兼経済戦略局立地推進部夢洲・咲洲地区調整担当課長** お答え申し上げます。

木質バイオマス発電でございますが、地球温暖化対策に有効な再生可能エネルギーの一つでございまして、現在、我が国でも林業が盛んな地域などにおきまして、森林等との地域資源と熱や電気の需要地が近接した地産地消の事例形成が進みつつございます。

この点におきまして、森林資材等から遠く離れた大阪市におきましては、木質チップ等の安定的な材料の調達ですとか、発電とともに生じます熱エネルギーの有効利用を含めた需要の確保、さらには市街地で密集します周辺的生活環境の保全などの課題もございまして、現時点で導入事例もないのが実情でございます。

今後引き続き、情報収集等に努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。以上でございます。

**高野伸生委員** ありがとうございます。

なかなかちょっと市域では難しいようでございますけれども、いろんな意味で、これからこういうことについても研究していただきますようによろしく願いたいと思います。

今、木材のエネルギー利用の話、あるいはまた、先ほどは水素エネルギーの話、環境のいろんな多機能化した対策というのが非常に重要になってこようかと思っております。

何度も申しますが、環境局だけで、これをやれと言われてもなかなかCO<sub>2</sub>対策というのはできません。オールラウンドで大阪市として各局、各部・課で取り組んでもらわないとできないと思っておりますので、局長、その辺のPR、今後ともよろしく願いたいしまして、私の質疑を終わらせていただきます。